

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	再発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫における血清可溶性インターロイキン-2 受容体と中枢神経再発、予後の関連についての後ろ向きコホート研究		
1. 研究の目的と方法	悪性リンパ腫と診断された患者さんにおいて、血液中の腫瘍マーカーである「可溶性インターロイキン-2 受容体」はリンパ腫の診断、治療効果のモニタリングとして重要な検査値の一つであることが知られています。一方、再発時の可溶性インターロイキン-2 受容体の値と患者さんの予後や神経系への再発との関連は知られておりません。そこで再発を認めた場合、可溶性インターロイキン-2 受容体の値が再発後の患者さんの経過に影響するか否かを知ることは今後の患者さんの診療に有益であると考えられ、カルテデータを用いて検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2015年1月から2021年12月にまでの間に附属病院、第三病院、柏病院にて診断され薬物療法を受けられた、20歳以上のびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫の患者さん。調査対象期間は2015年1月1日から2022年12月31日までとします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、検査結果(血液検査、骨髄検査、診断に用いた検体の病理結果、画像所見)、治療法、治療効果。	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 腫瘍・血液内科
		氏名	瓜生英樹
	(2) 試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学 内科学講座 腫瘍・血液内科 郡司匡弘	
(3) 共同で研究を実施する機関とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。		

【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 内科学講座 腫瘍・血液内科 研究責任者：助教 瓜生 英樹（うりゅう ひでき） 窓口担当者（附属病院）：助教 川島 雅晴（かわしま まさはる） （第三病院）：助教 瓜生 英樹（うりゅう ひでき） （柏病院）：助教 福島 僚子（ふくしま りょうこ） 電話番号：・本院 03-5400-1272（直通） ・第三病院 03-3480-1151(内線 3135) ・柏病院 0471-64-1111（内線 3201） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00
-----------------	--

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。